

地域おこし協力隊 ネットワーク愛媛 活動報告

多様化するミッションに対応するネット
ワーク組織

令和元年9月現在、愛媛県内に現役として活動する地域おこし協力隊は102名（過去も合わせると20市町中19の自治体が導入）となった。地域おこし協力隊制度がスタートして10年、今ではミッションも様々でキャラクターも多様な人材が地域おこし協力隊として愛媛県へ移住し活躍している。しかし、市町によって県内の地域おこし協力隊と担当者との連携や待遇・条件等で格差が生じている現状があり、様々な悩みを抱える隊員も少なくない。それらの問題を解消するべく、現役地域おこし協力隊が任意で参加し、県内の隊員同士が繋がることのできる組織として任意団体「地域おこし協力隊ネットワーク愛媛」を立ち上げることとなった。

愛媛県では県主催の「地域おこし協力隊集落支援員交流研修会」を開催し、毎年多くの参加者が集まり交流の場となっているが、各地域に属しそれぞれ多様なミッションを課されている彼らに

とつて、全員が共通する研修を行うことは困難になってきている。ヒヤリングをしてみても「地域や行政との関係性」といった悩みから「地域（資源）のPR」「地域での生業」など起業に関することまで様々。このようなニーズに対応するため、愛媛県主催の研修会とは別にもう少しテーマを絞った少人数を対象にした研修会や勉強会を企画するに至った。今回はこの「地域おこし協力隊ネットワーク愛媛」が企画したいいくつかの研修会をご紹介します。

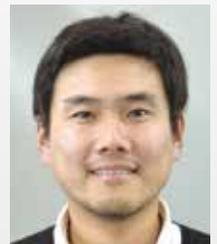
大三島での生業づくり研修

今治市大三島で開催した起業ワーク



今治市関前諸島岡村島での研修会

シヨップ「地域×生業づくり〜大三島編〜」では、起業に向けた実践的な内容に特化した1泊2日の研修会を企画した。研修会の舞台となった大三島では、現役・OBの地域おこし協力隊や移住者も多く、クラフトビール、パン屋、ラーメン店、ゲストハウス、カフェなど様々なフィールドで活躍をしている。彼らの同時多発的に点在する「生業」が線となり、面となって大三島という地域を活性化させているのである。このように移住者による、起業までの準備、経営に関する実例など、実際に現場を見学しながら話を聞くことができる、実践的な研修会とした。ファシリテーターとして、大三島でゲストハウス



えひめ移住
コンシェルジュ
板垣 義男



起業した移住者を訪ねたフィールドワークの様子



「農村ゲストハウスさかりば」を開業した地域おこし協力隊OBの鍋島悠弥氏に現場を進行してもらいながら、実際に事業計画書を作成するワークショップを実施。参加者は現場でのフィールドワークを参考にしながら、自分自身の理想とする生業を基に計画書を作り上げていくことで、具現化し整理していった。

SNS研修 しっかりとターゲットに届けるための

地域おこし協力隊に求められる業務として「情報発信」が挙げられる。協力隊活動のみならず、活動地域や産品、観光やイベントに関するPRなど様々な情報発信を求められることが多い。実際にFacebookなどで情報発信を行っているのを目にする機会が少なくないが、果たしてその発信は想定するターゲットにちゃんと届いているのだろうか。WEB上にアップすることで情報発信という業務を完結させてはいないだろうか。このような課題をもとに「SNSワークショップ」を開催することとなった。講師は、山口県周防大島への移住者で約1万人のフォロワーを持つ榮大吾氏。研修内容はSNSのマーケットや利用している年代についてなどの基礎的なものから、アカウントの分析方法や実際に運用しているツイートの添削など実践的な内容までを指導していただいた。参加者

からは「今まではやみくもにFacebook更新をしていたがSNSの使い分けや伝え方など、情報発信を見直すいきつかけになつた。」という声をいただいた。



周防大島でのSNS研修会

女性ならではの悩みや課題を解決する女性向け研修会

今年11月には、初の試みである女性協力隊員を対象にした研修会「愛媛県女性地域おこし協力隊活動相談会」を開催した。現役の協力隊や協力隊OGとの情報交換や交流により、女性ならではの悩みや課題を共有し一緒に解決のヒントを探ることで参加者の活動に役立てようというのが狙いだ。任期後の仕事や地域活動のことなど自由闊達な意見交換ができただけでなく、地域の産品を持ち寄った食事会やヨガのワークショップなどリラックスできるコンテンツも用意しており、大変好評であった。また、今回の研

修会から生まれたプロジェクトもあるようなので今後の展開にも注目したい。このネットワーク組織では、多様化する地域おこし協力隊のニーズに応える様々な施策を今後も実施していきたい。そのためにも、来年より地域おこし協力隊ネットワークはさらなるヴァージョンアップを検討中である。地域おこし協力隊だけにとどまらず、愛媛に愛着を感じ一緒に地域を盛り上げてくれる仲間も含めたネットワーク組織を構築していこうと思う。そしてネットワーク会員それぞれが活動する地域にしっかりと根を下ろし末永く愛媛県に関わってもらえるきっかけになれば幸いである。



年次に分かれて意見交換する女性地域おこし協力隊